

CentreCOM® 8216FXL/SC リリースノート

この度は、CentreCOM 8216FXL/SC をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、付属のマニュアルに記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ソフトウェアバージョン 2.2.1J

2. メニューから削除された項目

ソフトウェアバージョン 2.0.0J から 2.1.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

2.1 ソフトウェアのダウンロード(ネットワーク上のシステム)について

 「オペレーションマニュアル」 2-22 ~ 2-25 ページ

[Administration] メニューの [Update software in another system] および [Broadcast updated software to all systems] オプションは、ネットワーク経路によるダウンロード機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。

2.2 ウェブからのソフトウェア設定について

 「オペレーションマニュアル」 2-41 ~ 2-42 ページ

[System Configuration] メニューの [Omega Options] において、ウェブからのアクセス制限を設定する [Web-based Omega Enabled/Exclude Web-based Omega] オプションは、ウェブからのソフトウェア設定機能がサポートされていないため、メニューから削除されました。

ソフトウェアバージョン 2.1.0J から 2.2.0J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が削除されましたので、ご了承ください。

2.3 ターミナル設定の Generic “ dumb ” terminal について

 「オペレーションマニュアル」 1-14 ~ 1-15 ページ, 2-48 ページ

[System Configuration] メニューの [Terminal configuration] において、ターミナルの種類に合わせてソフトウェアを設定する [VT100-compatible/ANSI Generic “ dumb ” terminal] オプションはメニューから削除されました。これにより、本製品のターミナル設定はVT100-compatible/ANSIのみとなります。

3. 本バージョンで修正された項目

ソフトウェアバージョン 2.2.0J から 2.2.1J へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 3.1 bridge-mib dot1dBaseNumPortsの値が常に0(ゼロ)でしたが、物理ポート数 + 1 の正しい値が設定されようになりました。(拡張モジュールが装着されていない場合の値は17です。拡張モジュールが装着されている場合は、そのポート数分増加します。)
- 3.2 Default VLAN 以外の VLAN に所属するポートの MAC アドレスを、SNMP マネージャーから参照することができませんでしたが、これを修正しました。
- 3.3 「Activity monitor」画面に、MACアドレスの登録数が変化したときの情報が表示されていましたが、この情報を表示しないように修正しました。
- 3.4 トランキンググループ内の任意のポートでケーブルを抜き差しした場合、リンクしているポート数分の Trap が発行されていましたが、これを修正しました。

4. 本バージョンでの制限事項

4.1 RMON 機能について

 「オペレーションマニュアル」2-16 ~ 2-17 ページ

RMON alarm, event は、現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

4.2 マルチキャストアドレスの追加 / 削除について

 「オペレーションマニュアル」2-101 ~ 2-104 ページ

[MAC Address Table] メニューの [Multicast address] において、[Add MAC address] および [Delete MAC address] オプションを使用したマルチキャストアドレスの追加、および削除は現在未サポートとなっています。あらかじめご了承ください。

4.3 1000BASE-X/1000BASE-Tアップリンクポートのポートミラーリング機能について

 「オペレーションマニュアル」2-55 ~ 2-57 ページ

本製品のソフトウェア(プロトコルスタック部分)から送信されるパケット(BPDU、ARP reply、trap など)は、ミラーリングされません。

4.4 スパニングツリー機能について

IGMPスヌーピングが動作している環境で、スパニングツリー機能を使用することはできません。IGMPスヌーピング機能とスパニングツリー機能は併用しないでください。

4.5 SNMP 機能について

[Administration] メニューの [Reset and restart the system] 実行時(ソフトウェアリセット時)に出力されるトラップは、coldStart です。

4.6 設定変更時のご注意

システムの設定変更(ミラーリング機能設定をのぞく)を行った後は、[Main Menu] -> [Administration] とすすみ、[Reset and restart the system] メニューを実行し、システムをリセットしてください。

4.7 Xmodem ダウンロード機能について

 「オペレーションマニュアル」2-26 ~ 2-27 ページ

[XModem software update to this system] メニューを実行後、ソフトウェアのダウンロードをやむをえず中断する場合は、電源ケーブルを接続しなおしてください。

4.8 送信フレームの統計情報「Multicasts」について

 「オペレーションマニュアル」2-14 ~ 2-15 ページ

[Ethernet statistics] メニューの「Transmit Statistics Graph」画面 / 「Total Good Transmits」画面において、他のポートで受信したソースアドレス未学習のユニキャストパケットは、「Multicasts」としてカウント表示されます。

4.9 受信フレームの統計情報について

 「オペレーションマニュアル」2-12 ~ 13, 2-18 ~ 19 ページ

バックプレッシャー機能を有効にした場合、[Ethernet statistics] メニューの統計情報表示画面において、実際に受信したフレーム数よりも多い数が該当カウンターに表示されることがあります。

5. マニュアルの誤記訂正

5.1 VLAN 最大設定数について

 「オペレーションマニュアル」2-58 ページ

VLAN 最大設定数の表記に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

 2,047 個

 254 個

5.2 最大トランキンググループ数について

 「追加機能マニュアル(PN J613-M0512-00 Rev.C)」34 ページ

「トランキンググループの複数設定」の最大トランキンググループ数の表において、1000M[拡張モジュール] の数に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫びいたします。

 [2] (2 グループ)

 [1] (1 グループ)